

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月29日作成)

小委員会名	環境建築デザイン小委員会	主査名：菊田弘輝 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：田中英紀
設置期間	2023年4月 ～ 2025年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、建築物の省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入が進んでいる。一方、COVID-19、ウクライナ侵攻、異常気象等の影響も加わり、これまでの「環境建築」の考え方やデザインは、更なる高度化・複合化によって多様化していくと考えられる。</p> <p>そこで、本小委員会では、①多様化する環境建築の設計技術、性能予測・評価技術の事例を収集・分析・整理すること、②得られた技術的な知見を実務設計、技術開発、技術者教育に利用できるようシンポジウムや出版物等で情報公開することを目的とする。</p> <p>初年度：活動方針の確認と共有 環境建築の設計・技術・研究に関する事例収集・分析 環境建築の現地視察及びヒアリング調査</p> <p>2年度：環境建築の設計・技術・研究に関する事例収集・分析 環境建築の現地視察及びヒアリング調査 シンポジウムや出版物等に関する企画検討</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：菊田弘輝(北海道大) 幹事：大木泰祐(大成建設) 委員：赤司泰義(東京大)、石野久彌(東京都立大名誉教授)、宇田川光弘(工学院大名誉教授)、木下雅広(日本設計)、小池正浩(竹中工務店)、郡公子(宇都宮大名誉教授)、木幡悠士(NTTファシリティーズ)、長井達夫(東京理科大)、永田明寛(東京都立大)、中山哲士(岡山理科大)、羽山広文(北海道大名誉教授)、丸山純(松田平田設計)、村松 宏(日建設計)	
設置WG (WG名:目的)		
2023年度予算	120,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 環境建築の設計・技術・研究に関する事例収集・分析を行った。 2. 環境建築の現地視察及びヒアリング調査を行った。
委員会活動の問題点・課題	特になし

*中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価 (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	(A)	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2023年度は全5回の委員会、さらに定期的に見学会を実施した。委員会では以下の項目を中心に話題提供があり、それに関する意見交換を行った。また、2024年度からの刊行小委員会の設置に伴い、(仮)見る・使う・学ぶ 環境建築シリーズ第4弾の出版に関する議論を行った。AIJ大会ではOSを企画し活発な議論が行われた。</p> <p>【委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BESTによるCO₂濃度計算機能検討 ・出版に関する具体的な内容構成の検討 <p>【見学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市庁舎分庁舎 (京都府京都市, 9/12) ・高砂熱学イノベーションセンター (茨城県つくばみらい市, 9/20) ・新菱神城ビル (東京都千代田区, 9/20) ・トヨタ紡織グローバル本社 (愛知県刈谷市, 10/6) ・愛知県環境調査センター・衛生研究所 (愛知県名古屋市, 10/6) ・三菱電機 ZEB 関連技術実証棟 SUSTIE (神奈川県鎌倉市, 11/17) ・早稲田アリーナ (東京都新宿区, 11/22) ・ダイヤゲート池袋 (東京都豊島区, 11/22) ・竹中セントラルビルサウス (東京都江東区, 1/26) ・EQハウス (東京都港区, 3/8) ・須賀工業本社ビル (東京都江東区, 3/8) <p>以上から、当初の計画を十分に達成しているものと判断した。</p>			

●総合評価は4段階 (A>B>C>D) にて、自己評価すること。

●中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。

A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度

B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度

C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度

D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度

●小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。

●提出対象年：設置期間4年の場合は、2年目「中間年度評価」、4年目「最終年度評価」(1年目・3年目不要)

設置期間3年の場合は、2年目「中間年度評価」、3年目「最終年度評価」(1年目不要)

設置期間2年の場合は、1年目「中間年度評価」、2年目「最終年度評価」

設置期間1年の場合は、1年目「最終年度評価」